

科名 血液内科 血内139  
 対象疾患名 悪性リンパ腫  
 プロトコール名 ゲムシタビン単剤

| Rp | 形態  | ルート | 薬品名     | 投与量                   | 時刻・コメント  | 1 | ... | 8 | ... | 15 | ... | 28 |
|----|-----|-----|---------|-----------------------|----------|---|-----|---|-----|----|-----|----|
| 1  | 点滴注 | メイン | 生食      | 250mL                 | ルートキープ   | ↓ |     | ↓ |     | ↓  |     |    |
| 2  | 点滴注 | 側管  | デキサート   | 6.6mg                 | 30分かけて   | ↓ |     | ↓ |     | ↓  |     |    |
|    |     |     | 生食      | 50mL                  |          |   |     |   |     |    |     |    |
| 2  | 点滴注 | 側管  | ゲムシタビン  | 1200mg/m <sup>2</sup> | 必ず30分かけて | ↓ |     | ↓ |     | ↓  |     |    |
|    |     |     | 5%ブドウ糖液 | 100mL                 |          |   |     |   |     |    |     |    |

★1クール=28日

～MEMO～

・催吐レベル2(10%以上30%未満)

〈ゲムシタビン〉

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。

・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。

・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。

②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。

・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。

・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。

・ステロイド併用可